

The 15th TRIZ Symposium in Japan

With TRIZ, you can...



2019

閉会にあたって

With TRIZ, you can...

2019年9月5日(木)~6日(金)

主催：NPO法人 日本TRIZ協会

NPO法人日本TRIZ協会

副理事長 澤口 学

第15回日本TRIZシンポジウム2019を振り返って

今年度も2日間のシンポジウム(木・金曜日)として実施致しました。

本年も企業ならびにコンサルタントの発表者のほか、大学・高専の方々の発表もあり、バリエーションに富んだ内容だったかと思います。

今後の益々の発展に期待したいところです。

• チュートリアル

今年も、例年通り第1日目の午前中にチュートリアルを実施しました。

「TRIZとは何か!？」というシンプルなテーマで、日本TRIZ協会副理事長である私(澤口 学) が約10年振りに担当させて頂きました。初学者も理解できるように、TRIZの基本的な考え方や代表的なツールをアドリブを交えながら紹介したつもりです。また最後の方では簡単な事例や企業導入例(主に口頭)も限られた時間の中で説明させていただきました。

• 特別講演

1日目午後は、藤田医科大学教授(元富士フィルムCTO兼副社長)の戸田雄三氏をお招きし、「新規授業立ち上げと事業変革」をテーマにお話を頂きました。戸田氏は入社以来製造部門20年、11年オランダでの研究所長を務められ、その後ヘルスケア関連の事業立ち上げを指導した波乱万丈の経験からのお話しは非常に含蓄に富み、印象に残るキーワードも数多くありました

- 成長には時間がかかるが、衰退はあっという間
- クレージーのカリスマ、フール etc、
- やりたい事がないのに、やれないと言い訳する人が多い

• 基調講演

2日目午前は、Dr. Robert Adunka(ロベルト アドゥンカ)氏(ドイツ)をお招きし、「ヨーロッパでのTRIZの現状-事実、数字および成功事例-」の題目で講演して頂きました。欧州における多様なTRIZトレーニングに関する具体例の紹介などは日本でも大変参考になる内容だったと思います。特に、学生を対象としたTRIZ活動表彰制度、TRIZ Bar Camp、European Remote TRIZ Workshopなどは、特に印象に残ったのではないのでしょうか。

- 一般発表は、オーラル発表が1日目8件＋2日目11件、ポスター発表は2件の実績でした。来年も今年以上の発表者を期待したいと思います。

一般発表の中では、TRIZの関連技法としてQFD・VE(機能分析)との連携やイノベーション活動とTRIZとの関わりの事例の他に、百人一首と40の発明原理の関連や工学系論文を効率的に執筆する場面でTRIZの活用を考えるなど非常にユニークな発表もあり、昨年以上にTRIZ活用の多様な展開を感じることができた2日間だったと思います。

- 参加者については、誠に残念なことではありますが、昨年度に引き続いて減少してしまいました。

次回以降、多くの方に参加いただけるように、シンポジウムの内容を一層魅力的にすることおよび各団体との連携または広報活動を、さらに強化していきたいと思います。

- **参加者数（国内・海外） 昨年：100名 → 今回：89名**

来年の第16回大会は、より多くの参加者を集められるよう魅力的なシンポジウムを企画していきたいと考えております。

今後も皆様方のご協力を是非ともお願いいたします。

第15回日本TRIZシンポジウム2019での協力団体

- 後援：日本知財学会、品質工学会
- 協賛：応用統計学会、再生医療イノベーションフォーラム
統計数理研究所リスク解析戦略研究センター、
日刊工業新聞社、日本科学技術連盟、日本機械学会、
日本設計工学会、日本創造学会、
日本バリュー・エンジニアリング協会、
立命館大学 グローバルMOT研究センター

敬省略

■ 今年(2019年)は、後援2団体・協賛10団体となりました。

支援団体の方々に感謝申し上げます。

これもひとえに関係者の皆様のご理解と努力のたまものと考えます。

■ 来年度の第16回大会でも、TRIZの認知度Upおよび参加者の増加を
図るべく新たなイベント等の企画も、引き続いて検討したいと思いま
す。

■ シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、福嶋 洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、広報委員会

プログラム委員長：小西 慶久

■ 開催準備協力

ポスター&パンフレットデザイン：志方 淳子

開催準備：緒方 隆司、古謝 秀明、長谷川陽一

■ 会場設営&シンポジウム運営

日本TRIZ協会運営委員、協力委員 （敬称略）

会場関係

今回のシンポジウム開催に当たり、会場の使用を
快諾戴き、また種々の便宜を図って戴きました
全水道会館様の関係者各位に厚く御礼申し上げます。

第15回日本TRIZシンポジウム2019 閉会にあたって

シンポジウムも予定された日程を終えました。

新製品開発への適応/技術問題解決/知的財産創出/大学の研究/
社内活動報告などに対するTRIZ推進状況（各手法等との組合せも含む）
のさまざまな発表が行われました。

これも皆さんのご協力があったのものであります。厚くお礼を申し上げます。

これらの知見を皆さんの所属機関に持ち帰って、TRIZの研究/利用/応用に
役立てていただけるものと期待致します。

*運営面では、A会場とB会場が4Fと5Fと少し離れておりましたが、コンパクトな作りの会場でしたので、基本的にはスムーズな移動ができ、軽い運動?にもなったのではないかと思います。交流会は、開催会場から結構離れており移動で迷う方もおり、少し大変だったかもしれませんが、交流会自体は楽しく過ごせたのではないかと思います。

日本TRIZ協会からのお願いとお誘い

- TRIZシンポジウムでの活動はもとより、日本TRIZ協会の活動は会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動で行われています。
- TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして、研究会活動の参加をはじめとして、TRIZ協会の活動に皆さんの積極的なご参加をお願いします。

<研究会活動>

- 1) 知財創造研究分科会（主査：長谷川公彦氏）
- 2) ビジネス・経営TRIZ研究分科会（主査：吉澤郁雄氏）
- 3) 新しい時代のTRIZ教育分科会（主査：黒澤楨輔氏）
- 4) 既発表情報活用研究分科会（主査：永瀬徳美氏）

2020年第16回大会に向けて

■ 来年度は、第16回大会です。

- 日程：2020年9月第1週の3(木) & 4(金) or 第2週の10(木) & 11(金)
- 場所：「立命館大学OIC(大阪茨木キャンパス)」で開催予定
(大阪府茨木市岩倉町 最寄駅：JR茨木駅)

■ 来年度も可能な限り特別企画等も継続して実施していく所存です。

今から、日程の確保をお考えください。

次回のシンポジウムには是非発表をお願いします。

→ 今から発表に向けて準備をお願いします。

と同時に、今年同様活発な意見交換をお願いします。

「立命館大学OIC(大阪茨木キャンパス)」



立命館大学





立命館大学



- ◆ 来年のシンポジウムのためにも、「アンケートの記入」にご協力をお願いします。
- ◆ 「あなたにとって良かった発表」の投票をお願いします。
- ◆ また「名札の回収」にご協力ください。

第15回日本TRIZシンポジウム2019へのご参加を頂き誠にありがとうございました。
あらためてお礼申し上げます。

気をつけてお帰りください



See you next year!